

# 林野庁 東北森林管理局 森林技術・支援センター

# たより

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8

TEL : 0173-57-9022 FAX : 0173-69-2788

E-mail : t\_gijyutu\_c@maff.go.jp

HP : <http://www.rinya.maff.go.jp>

/tohoku/syo/gizyutu/

～5つの技術開発課題に取り組みます～

## — 技術開発課題の概要 —

### 【課題1】ヒバ天然林施業の調査データ収集と解析

ヒバ天然林の林分状況に応じた施業の実施に向け、択伐及び間伐後の施業効果を検証するため、平成7年度から継続して成長量等の調査を行っています。

### 【課題2】多雪寒冷地における大苗植栽の特性

多雪・寒冷な気候の東北地方において、低コスト造林が期待される「コンテナ苗の大苗」(60cm上)と通常苗(35cm上)の植栽後の成長を比較することで、大苗の特性を明らかにし実用化に向けた検証を行っています。

### 【課題3】カラマツ挿し木コンテナ苗による植栽試験

近年成長・材質が優れ再造林樹種として注目を集めているカラマツですが、種子は豊凶の影響で着果量が一定せず慢性的な種苗不足の解決のため、カラマツ挿し木コンテナ苗の実用化に向けた植栽試験を行っています。

### 【課題4】2条、3条植栽による下刈省力と多様な森づくり

植栽本数が少ない低密度植栽での諸課題の解決のため、カラマツの2条・3条植栽を実施し、植栽しない区画を設定することでの下刈面積の削減による省力化や天然力を活用した多様な森づくりに向けた調査を行っています。

### 【課題5】特定母樹挿し木コンテナ苗による低コスト造林試験

成長の優れているスギの特定母樹ですが、種子での生産に時間を要することと、種苗の安定供給が課題であることから、特定母樹挿し木コンテナ苗と普通コンテナ苗の植栽後の成長を比較し、造林の低コスト化に向けた特定母樹の成長の優位性及び下刈回数の削減効果の検証を行っています。

東北森林管理局管内に設定した各試験地で、管轄の森林管理署職員、森林総合研究所東北支所及び東北育種場などの研究機関の協力を得ながら調査を進め、東北地方の地域特性に適した森づくりの技術開発や民有林への技術支援に今年度も取り組んでまいります。(副所長 後藤)

# 技術開発課題の試験地位置図

## 課題 1



### ヒバ天然林施業の検証

技術開発期間：H7～R6  
場所：津軽森林管理署金木支署

## 課題 2



### コンテナ苗の大苗化

技術開発期間：H28～R5  
場所：米代東部森林管理署  
上小阿仁支署  
岩手北部森林管理署



### カラマツ 挿し木コンテナ苗

技術開発期間：R2～R6  
場所：盛岡森林管理署

## 課題 3

## 課題 4



### 2条・3条植栽と 多様な森づくり

技術開発期間：H30～R4  
場所：盛岡森林管理署

## 令和4年度 中間報告

## 課題 5



### 特定母樹 挿し木コンテナ苗

技術開発期間：H30～R4  
場所：盛岡森林管理署  
仙台森林管理署



(ヒバ天然林施業箇所のドローン撮影)



(関係機関との合同調査風景)

## 4月1日付け人事異動～着任のご挨拶～

### 【技術開発主任官 齊藤 英昭】

令和4年4月1日付けで、森林技術・支援センター付技術開発主任官を拝命した齊藤です。

今までは、主に森林管理署での業務関係、総務関係での業務を行ってきましたが、このたび森林技術・支援センター勤務ということで、森林技術・支援センターで今まで行ってきた課題及び現在行っている課題など国有林はもとより民有林も含め、「新しい林業」に向けた展開とその普及に向けた取組の推進の一助になればと思いますのでよろしくをお願いします。

### 【業務係長 岡本 英朗】

令和4年4月1日付け人事異動により、森林整備部 森林技術・支援センターの業務係長を拝命しました岡本です。森林技術・支援センターでは、森林・林業に関する情報発信基地として東北地方の地域的特性に適した技術開発や民有林への普及・支援に取り組んでいます。微力ではありますが、誠心誠意努めて参りますので、関係機関並びに各署の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくをお願いします。

### 【業務係主任主事 木村 亮太】

令和4年4月1日付け人事異動により、森林整備部 森林技術・支援センターの業務係を拝命いたしました木村です。よろしくをお願いします。

当センターでは、林業の低コスト化に向け、東北局管内に試験地を設定し、先駆的な技術や手法の実証を行い国有林野の管理経営、民有林への普及・支援に取り組んでおります。

関係機関並びに各署の皆様と連携し調査に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお申し上げます。

## 3月31日付け人事異動～退職のご挨拶～

### 【業務係長 青山 岳彦】

事情がありまして、令和4年3月31日付で退職することになりました。在職期間中は多くの方にご指導・ご鞭撻をいただきながら、なんとか職務を全うすることができました。皆様に支えていただいた8年間（当センターは3年間）でした。4月からは宮城県庁の職員として気持ちを新たに働きます。今後も一緒にお仕事をさせていただくことがあるかもしれませんが、その時はどうぞよろしくお願いいたします。またお逢いできるのを楽しみにしています。ありがとうございました。

❖ お世話になりました ❖ ～ 令和4年4月1日付け人事異動～

・東北森林管理局技術普及課緑の普及係長 八木 修（森林技術普及専門官）

### ～編集後記～

早いもので新年度が始まり1ヶ月があっという間に過ぎました。着任した職員は担当する技術開発課題の資料を読み込みつつ、課題のある森林管理（支）署と打合せ等を行い、現地調査の準備をしています。今後、雪解けが進み、本格的に調査が始まりましたら、関係する皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

